

2020年7月30日
国立大学法人東京大学

「量子イノベーションイニシアティブ協議会」の設立について

この度、国立大学法人東京大学（総長：五神 真、以下「東京大学」）は、「量子イノベーションイニシアティブ協議会」（以下「QII協議会」）を設立しました。

QII協議会は、量子コンピューティングを実現する科学技術イノベーションを日本国内において独自のかたちで集結させ、量子コンピューティングのためのエコシステムを構築することで戦略的に重要な研究開発活動を強化し、産官学協力のもとに我が国全体のレベルアップと実現の加速化を図り、広く産業に貢献することを目的として設立されたものです。

【東京大学総長 五神真のメッセージ】

Society5.0は知識・情報・サービスが価値を担う知識集約型社会において、デジタル革新がもたらす様々な新技術を活用するなかで、包摂的（インクルーシブ）でサステナブルな、よりよい社会の姿として提示されたものです。その実現の鍵はリアルタイムでリアルなデータを活用することです。そのためには、実空間とサイバー空間の結合が進行する中で、地球環境すなわち実空間と、サイバー空間とを一体と捉えた上で、それをグローバルコモンズ（＝地球の資源と生態系を包含した概念）として持続可能かつ信頼できるものとして、守り育てることが求められています。量子技術、そして、量子技術に裏打ちされた量子コンピューターは、そのために不可欠な技術です。その社会実装を我が国が世界に先駆けて先導するためには、産学官の連携が必要です。QII協議会は、相互の知恵を出し合い、情報共有を密に進める中で、量子技術研究とその社会への導入研究を連動させて加速し、量子コンピューターを含む量子技術をSociety5.0にしっかり実装していくことを目指します。

【QII協議会概要】

設立日	2020年7月30日
会長（予定）	佐藤 康博（株式会社みずほフィナンシャルグループ 取締役会長）
プロジェクトリーダー（予定）	相原 博昭（東京大学 大学院理学系研究科教授）
参加者（予定）	学校法人慶應義塾、JSR株式会社、DIC株式会社、株式会社東芝、トヨタ自動車株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社、株式会社日立製作所、株式会社みずほフィナンシャルグループ、三菱ケミカル株式会社、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（五十音順）
事務局	東京大学
主な活動内容	（1）量子計算ソフトウェア・アプリケーションに関する情報交換 （2）量子コンピューターに我が国のものづくり技術を適用し飛躍的性能向上を図るための量子ハードウェアに関する情報交換、及び次世代量子コンピューターの開発に結び付く基礎科学技術に関する情報交換
役割	量子コンピューティングのアルゴリズム及びアプリケーションの

研究開発を将来に至る社会課題の解決に向けて相互に連携・協力することを目的とし促進させ、且つ当該技術の研究成果を広く社会に普及させ、その成果を以って広く産業に貢献する。

【東京大学の取り組み】

QII 協議会のメンバーと共に量子アプリケーションの開発、量子コンピューターシステム技術開発に加え量子科学の推進と教育を行っていきます。併せて、メンバーとの研究成果について公表可能な範囲で積極的に QII 協議会の総会又は幹事会に発信し情報交換を行うことにより、世界に先駆けて量子コンピューターの社会実装の実現を目指します。

なお、学内では、若手研究者が共同研究に参加し量子教育プログラムを充実させることにより人材育成を進め、我が国全体のレベルアップと実現の加速化を図ります。また、今年度、東京大学の未来社会協創推進本部学知創出分科会に「量子イニシアティブ」を設置し、量子関連研究領域に関するプロジェクトの可視化に向け、7月10日に「量子イニシアティブ」のホームページを開設しました。

【新規メンバー募集のご案内】

QII協議会では、志を同じくする参加メンバーを広く募集しています。量子技術に関する全ての要素・システムの開発や次世代人材育成にご関心をお持ちの大学、研究機関及び企業の皆様のご参加を心よりお待ちしております。ご興味をお持ちいただけましたら、本件問い合わせ先までご連絡ください。

以下のURLにて、本学の量子関連研究領域の教育・研究プロジェクトをカテゴリ別に紹介しておりますので、是非ご覧いただければと存じます。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/fsi/ja/projects/quantum/>

問い合わせ先：

国立大学法人東京大学 産学協創部

〒113-0032 東京都文京区弥生2-11-16

E-mail : kyoso-info.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp